

OB・OG通信

次の10年は“宝探し”の10年

第1期 OB 井川 倫士

こんにちは。毎度おなじみ1期の問題児、井川です。また1年の始まりにゼミの寄稿文を書いています。今年こそ締切りに間に合わせたかったのですが、なかなか旨くはいかないようです。さて今回は、昨年の5つの宣言の振り返り、2013年10月に設立した株式会社、並びに通塾しているNPO法人一新塾のご紹介、自分への戒めとメッセージを送りたいと思います。

◆前回のOB寄稿文に掲載した5つの宣言がこの1年で守られたのかどうか

- ①結婚生活：結婚式での新郎挨拶通り、たくさん会話し感謝の気持ちを大切に生活していきます。
⇒★結婚生活：かなり気恥ずかしいですが、夜寝る前の布団の中で妻に「ありがとう」と伝えてから眠ります。妻は私のよき理解者で応援団。“私の宝”です。
- ②子育て：子供の清らかな部分を伸ばします。「子供は社会が育てる」をモットーに直接経験を積める環境を用意し、自分の得意なこと、好きなこと、やりたいこと（夢）を見つけて伸ばしてもらいます。
⇒★子育て：長女の侑里は想像以上に健やかに逞しく成長している。私よりも賢く器用なようです。子供は“私たちの宝”。これから侑里自身が“自分の宝探し”をしていって欲しいです。
- ③将来のミッション：実家の茨城県銚田市に1年半後にUターンし、“犯人捜し”を止めて自らがリーダーとして地域貢献、地域活性化に一生身を投じます。
⇒★茨城のミッション：2014年7月に茨城県に引越す。しかし茨城と東京の2拠点で活動します。“茨城の宝”と“東京の宝”を掛け合わせて、磨き合っていきたいです。
- ④仕事の行く先：FPとして独立し、並行して月3万円ビジネスで経済的独立を果たします。
⇒★仕事の行き先：昨年10月にファイナンシャル・プランニングの会社として独立開業。月3万円ビジネスはこれから4月までに計画を立てます。“茨城で埋もれている宝”を自ら発見します。
- ⑤我々の夢：お互いに自分の道を切り開いていきましょう！
⇒★我々の夢：将来は市議会議員や市長として地元茨城県銚田市の“地域の皆と宝探し”をして生きていきたいです。

振り返ってみると感じていたよりも進展しているようです。これからも少しずつ歩んでいきます。

◆設立した会社：株式会社 Lifemark&Gift (『ありがとう』で綴る未来へ) と NPO 法人一新塾のご紹介

2030年という少し遠い未来は、人口減少によって5軒に1軒が空き家になる時代と統計的に予測され

ています。その時に自分の住宅としての家を持つことの価値はだんだん薄れていくはずですが、自分の居場所としての家、家庭、地域は価値が自ずと増すでしょう。家族や仲間たちとワイワイと味わいながら、何より楽しく心地よく、感謝の多い日々を送るライフスタイルを素敵だと感じます。そんな見通しの中で私の会社では以下の価値を軸に事業を展開して参ります。

1. 手触り感のある体験を通して、人生の豊かさを実感することができるのか
2. 頭と気持ちの整理や家の片付けを通して、すっきりシンプルな生活を送れるのか
3. 出会いにより人・情報の目詰まりをなくして、自分と他人の可能性を広げているのか

この第1弾として、ファイナンシャル・プランニング事業を展開し「すっきりシンプルなライフスタイル」の実現をお手伝いしております。また今後早い段階でハウスクリーニング事業を開設して障がい者・メンタル不全者の雇用・就労も実践していきます。その中で、障がい者を抱える家族の支援やパートナーを早めに亡くされた家族の支援をして参ります。

これらのことをこの1年でまとめ上げることが出来たのも、現在も2年目として通塾中のNPO法人一新塾のおかげでしょう。この塾は元マッキンゼーの大前研一さんが立ち上げた「日本のネクストリーダーを養成する政策学校」です（現在は大前さんからは独立）。人生や自分のやりたいことをもう1度熟成させる時間や機会が欲しい人にはお薦めしますよ。

◆自分への戒めとメッセージ

近年起こってきている文明のパラダイムシフト（斬新なアイデアにより時代が大きく動くこと）は、流行の本でも見て取れるような気がします。書店へ行くと「起業」に関する本が多数出版され特集コーナーを見かけるようになりました。価値観の多様化と言われて久しい。しかしそれを実践しているのはごく少数の人間で、私を含めた多くの人は実態として国やメディアの作り



御家族と

出した常識の枠の中で選択して来ました。ところが3.11の地震の影響か私の周りでも大企業を退職して起業する方や、実家の田舎に帰る決断をする方が増えてきています。つまり私は慶應生らしく時代の最先端を走っています（笑）新しい時代には仮説を立て検証する能力を持ち、主体的に人生のハンドルを握ることが重要となってくるでしょう。つまり仮説検証や主体的な学びを実践する小野ゼミ生にとっての活躍の好機と言えます。更に付け加えるなら、これからの10年は我々一人ひとりそして日本も“自分たちの宝探しをする10年”となることを確信しております。そこで重要となるのは自利き力です。これをお互いに磨いて自分の道を切り開いていきましょう！ “ふぁいと” さあ、宝=Gift探しの旅へ